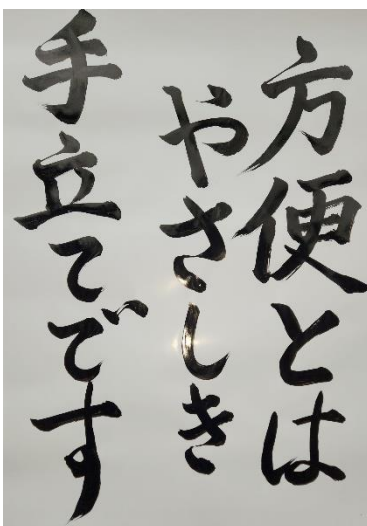


慶念寺々報

つなぐがけ

慶念寺の掲示板 第三十二回



「方便とはやさしき手立てです」

先日、ある方のお葬儀をお勤めさせていただいた時のことです。お葬儀の後に、親族の方が故人様が生前に書いたエッセイを拝読すると伺いました。故人様の生前のことを伺う機会でもあるため、すぐに退出をせず後ろで私も拝聴することにいたしました。

故人様が若かったころお母様から「生命保険が満期になるから自分と娘三人で旅行に行かない？」と誘われたことから始まるエッセイでした。エッセイの細かい内容は私が説明することではありません。生命保険協会のサイトから一九九五年のエッセイ集が見られるので、是非ご覧になっ



てください。

この文章から、故人様のお母様の優しさや、ご家族への愛情。そして、故人様からお母様への感謝などが深く感じられます。そして一番私に響いたのが「満期も方便」というタイトルです。「嘘も方便」という言葉から「方便＝嘘」と思われがちですが、方便という言葉の本来の意味は「嘘」ではありません。「真実に導くための手立て」を、方便といふのです。

家を出た娘たちと触れ合う機会も減ってしまったからこそ、みんなでゆっくり時間を過ごすため。大人として独り立ちした娘たちに甘える時間、肩の荷を下ろす時間を作るために「生命保険が満期になる」という手立てを使って、娘さんと水入らずで過ごそうというお母さんの深い愛情と優しさが詰まっていると私は感じました。



方便とは、もとは仏教の言葉です。悟りの如来が、迷いの中にある衆生を救わんとする様々な手立てを方便と言います。また、衆生の素養によって巧みに導くための手段を方便とも申します。衆生を思う如来の慈悲。そして衆生の有様を見抜き、必ず救われるよう完成してくださった。私を救う手立てこそ、易しき方便だったのです。



「方便」という言葉の持つ、「優しさ」と「易しさ」をあらためて味わわせていただきました。



宗教法人の登記が完了しました！

度々ご報告させていただいておりました、宗教法人の登記が終了し、県庁への報告、宗派への登記完了届の提出が終了いたしました。



これで、晴れて慶念寺もお寺のたまごからお寺へと孵化することが出来ました。これも偏に慶念寺の日ごろの活動に御理解・ご協力くださったすべての皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。

書類上は大きく変わったものの、今までと変わらないのもったいありません。ですので、慶念寺の活動もパワーアップできるように励んでまいります。

つきましては次ページに、この度の法人設立に向けて行った、御本尊修復事業の会計報告を掲載いたします。ご協力いただけた方も、今回は見送った方も、協賛しただけの間にも合わなかった方もお目通しただけですと幸いです。

また、その次のページには来年度の慶念寺の年間行事予定を掲載しております。法要・法話会だけでなく、築地本願寺への奉告参拝や、京都にある本山本願寺の年中行事「お煤払い」の団体参拝なども計画しておりますので、是非ご予約下さい。もちろん、参拝だけではなくお楽しみも考えています。

築地本願寺常例講師を勤めました



先月の寺報の編集後記でも書きましたが、三月二十一日から二十四日にかけて、築地本願寺の常例布教の講師を務めてまいりました。春のお彼岸のご法座も一緒に勤められていることもあり、多くの方にお参り、お聴聞いただきました。

住職が持っている布教使という資格は、ご本山や、直轄寺院・別院などでこのように法話をする事が出来る資格で、時々このような重大なお役目を頂戴することがございます。帰ってきて、ぐったり疲れていたのは言うまでもありません。

発送作業のお手伝いをお願い

来月も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

日時：令和六年四月二十七日（土）

十四時から

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

終了後、ご希望の方は駅までお送りいたします。

みんなでワイワイとおしゃべりしながらやっている発送作業です。寺報を折って封筒に詰めるだけ。時々娘も参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありましたら是非お越しくださいませ。



仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また日程や会場・葬儀社がお決まりでも、お寺への連絡は直接お願いいたします。

ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

お手紙下さい

おうちにあまつている便せんやハガキ、切手などがありましたら、是非慶念寺にお手紙をください。住職や坊主がお返事をいたします。最近では、お手紙をいただくことも増え、本当に嬉しく思っております。日常の事、ご相談などなど。是非お寄せ下さい。

次回の法話会は

四月二十一日（日） 十四時から 慶念寺本堂

にて「定例法話会」を行います。皆様のお参り、心よりお待ちしております。

編集後記

三月は、法人登記や築地本願寺での常例布教への出講など、重要なお役目にてんてこ舞いでした。二十四日に帰ってきて、二十七日には発送作業を予定しておりますので、校正時間も含めて突貫作業でこの寺報を仕上げました。お休みらしいお休みが作れなくてなんだがぐったりしております。

さてさて、来年度の予定にも書きましたが、六月に築地本願寺への奉告参拝を考えております。築地本願寺の職員さんに相談をして、夕方に参拝した後、閉門後に普段は一般には入れない場所も見学できるような機会を計画中です。いつもはお坊さんしか入れない場所にも入れるように考えておりますので、興味のある方はぜひご参加ください。終了後は築地近辺で会食をする予定でもおります。お楽しみに！



浄土真宗本願寺派 築地本願寺

川崎多摩布教所 慶念寺

〒214-0012
川崎市多摩区中野島 4-24-2-5
電話：044-819-5482
FAX：044-819-5538
Email：mail@kyounenji.com

ホームページ URL
<https://kyounenii.com/>



慶念寺ホームページ QR コード